

はじめに

金沢大学附属中学校

校長 鷺山 靖

本校は、平成 25 年度の研究主題として「課題を解決するための思考のあり方～よりよく思考するための手立ての工夫～」を掲げ、各教科等がそれぞれ具体の研究テーマを設定し、研究を進めてまいりました。平成 25 年 11 月には研究中間意見交換会を開催し、私どもの研究状況・実践状況をポスターセッション形式により発表し、他校の教員や研究者の方との意見交換に取り組みました。その意見交換は研究内容・方法に対する評価に止まらず、研究内容・方法に関する情報交換やお互いの研究課題に対するアドバイスへと進展しました。異なる教科の参加者との意見交換も実現し、他教科の知見・手法を自教科に取り入れるお互いの絶好の機会となりました。こうした研究中間意見交換会で得た様々な知見・手法を 12 月～4 月の実践研究に反映させ、これら各教科等の研究実践の集大成として、平成 26 年 5 月に教育研究発表会を予定しておりました。

ところが、国立教育政策研究所の平成 26・27 年度教育課程研究指定校事業に本校は採択され、平成 26 年 4 月より『「持続可能な社会の形成者として必要な能力や資質の育成」～教科間のつながりを目指したカリキュラム開発を通して』を主題に研究に取り組むことと相成りました。そこで、本来は教育研究発表会の全体会、公開授業、教科別分科会に合わせて研究紀要を発行するところではございますが、研究の区切りをもうけるために年度末の平成 26 年 3 月に発行することとし、研究中間意見交換会にて、諸先生よりいただいたご意見や情報交換をもとに、再検討、再実践した取り組みの成果・課題を本紀要にまとめ、関係各位の皆様へ報告いたします。

なお、上記の ESD 教育について、初発の研究視点に立った授業検討会を開催し、新たな研究への手掛かりを掴んでまいりたいと存じます。開催日が決まり次第ご案内申し上げます。本校独自の教科間のつながりを目指したカリキュラム開発にご期待ください。

平成 26 年 4 月 3 日